



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2011-2012年度 R.I.会長 カルヤン・バネルジー



ここの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 第2590地区ガバナー 上澤摩壽雄

● 会 長	加 藤 仁 昭	● 会長エレクト	飯 田 泰 之
● 副 会 長	伊 東 英 紀	● 副 会 長	山 本 登 潔
● 幹 事 事	天 野 公 史	● 副 幹 事	西 山 潔
● 会 事 計	朝 日 達 夫	● 副 会 計	田 口 健 太 郎
● S A A	山 本 芳 弘	● 副 S A A	吉 田 隆 男
● 副 S A A	横 溝 亘	● クラブ会報	小 山 市 康

●クラブテーマ「感謝・継承・進化」●



事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン (創立記念日 昭和 51 年 5 月 29 日)
URL <http://www.kanagawahigashic.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2011-2012年度 第24号週報 No. 1723 2012年(平成24年) 1月6日 第1723回例会記録 1月13日発行

司 会 西山 潔 副幹事

特別行事 ホテルへ謝礼贈呈

点 鐘 加藤 仁昭 会長



齊 唱 「君が代」「奉仕の理想」

ロータリーの綱領 河野 明光 ロータリー情報委員長
(第1例会のみ)

四つのテスト 植田 清司 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

結婚記念日祝 友添 辰哉 会員 (1月11日)

本日〈1月13日〉のプログラム

- ◆ 齊唱 「我等の生業」
- ◆ 献立 祝弁当
- ◆ 卓話 「ふろしき道 日本の心で世界を包む」
風呂敷&和文化コンシェルジュ つつみ純子 様
(紹介者 天野 公史 会員)

幹事報告**天野 公史 幹事**

- ・次週、例会終了後に1月度定例理事会を開催致します。
- ・ロータリー団体同好会の案内が来ておりますので回覧します。
- ・地区より2011-12年度地区ローターアクト海外研修報告書が届いておりますので回覧します。
- ・当クラブ宛にクリスマスカード、年賀状が届いておりますので回覧します。
- ・日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会の案内が来ておりますので回覧します。

◎例会変更のお知らせ

*横浜鶴見北ロータリークラブ

平成24年1月26日(木) 移動例会

2月23日(木) 移動例会

*横浜都筑ロータリークラブ

平成24年2月29日(水) 夜間例会

*神奈川ロータリークラブ

平成24年1月30日(月) 夜間例会

*横浜日吉ロータリークラブ

平成24年1月25日(水) 夜間例会

委員会報告**雑誌委員会 委員長 赤堀 和人**

ロータリーの友1月号を紹介致します。

まず、横組みから、1ページと44ページにR I 指定記事がありますので、必ず読んで下さい。横組みでは、今月はロータリー理解推進月間と題して「ロータリーについて考えよう。ロータリーって何をしているの」を詳しく紹介しています。

縦組みでは、2590地区から横浜ロータリークラブがワイキキロータリークラブのフードフェスに参加の記事が24ページに、また同じく横浜ロータリークラブのローターアクトクラブが26ページに紹介されています。

今月号も素晴らしい記事満載ですので、ご一読下さい。

新世代奉仕委員会 委員長 白鳥 厚夫

【ルーランロータリークラブ訪問について】

友好クラブ・マレーシア・ルーランロータリークラブ訪問を2月21日(火)から25日(土)まで行います。

本来ルーランロータリークラブ訪問に関しては、国際奉仕委員が主体となる所ですが今回は、長井国際奉仕委員長が仕事の都合で行けない可能性があるので私白鳥新世代奉仕委員長、および国際奉仕委員として代行させて頂きます。ルーランロータリークラブに対し、東日本大震災の義援金を頂いたこともあり、フェリスで翻訳した絵本寄贈と30万円の寄付を図書館にする予定です。寄付の具体的な使い道は、現在、ルーランロータリークラブで検討して頂いております。どうぞ沢山の参加をお待ちしております。

連絡は、白鳥厚夫までお願い致します。

【アンケート調査について】

将来交換留学生を受け入れる場合、当クラブとして可能かどうかを調査したいと新世代奉仕委員会として考えております。

どうぞご家族と協議して頂き、1月20日迄にお答えをお願い致します。

出席報告**金森 欣一 出席委員長**

会員総数	56名	(40+16)名	
出席会員数	45名	(33+12)名	
出席率		86.54%	
ゲスト	0名	ビジター	0名
前回補正後	90.74%	前々回補正後	96.23%

スマイルボックス 横溝 亘 副S A A

加藤仁昭君 ①新年明けましておめでとうございます。残り半年、よろしくお願いします。②いとこが七草を作っています。私も手伝っています。是非、帰りに持ち帰って下さい。

富居利貞君 明けましておめでとうございます。今年もよろしく。

山木幹夫君 明けましておめでとうございます。本年は良き年になることを祈ります。

田邊正彦君 明けましておめでとうございます。本年もよろしく。

石川正三君 今年もヨロシク・・・。

青柳 紀君 謹賀新年。回りまわってまた年男。次回はありやなしや。本年もよろしく！

岩澤利雄君 明けましておめでとうございます。良い一年になりますように。今年もよろしくお願いします。

月山 勇君 ①新年明けましておめでとうございます。今年は「ぶれず、揺れず、逆らわず」の3ずで平穏無事に一年を過ごそうと思います。②青柳さん、大戸屋 山下町店、開店おめでとうございます。ところで、あと何店舗増やせば気が済むのでしょうか・・・。

山本 登君 孫からもらった年越しの風邪で苦しんでいます。医者の不養生で寒い中のゴルフのやり過ぎです。本年もよろしく。

河野明光君 「年忘れ家族会」では、親睦活動委員の皆様の活動に感謝致します。「春の家族会」目指して頑張って下さい。

天野公史君 新年明けましておめでとうございます。本年は穏やかな年でありますように！

山田富雄君 加藤会長、天野幹事始め、会員の皆様、おめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

矢野修二君 本年もよろしくお願い致します。

伊東英紀君 明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

渡邊 淳君 2012年辰年のスタートに際し、日本の復興と世界の和平を願い、明るい年を作りましょう。本年もどうぞよろしくお願い致します。

西山 潔君 明けましておめでとうございます。本年は会員の皆様方に大変お世話になります。よろしくお願い致します。

横山範夫君 ①新年おめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。②大橋会長、ボクシング残念でした。

伊澤政宏君 明けましておめでとうございます。皆様にとって良い年でありますように。

飯田泰之君 謹賀新年。今年もよろしくお願ひします。

山崎善也君 本年もよろしくお願ひ致します。

川邊正男君 明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。

山田正憲君 今年もよろしくお願ひします。

脇田いすゞさん 新年明けましておめでとうございます。今年もロータリーを楽しみましょう。

茂木知子さん 明けましておめでとうございます。白戸家からDr.山本へメッセージ・～樋口可南子より～今年の家族会はリアルDr.山本でお願いします。／～お父さん～ドックフード代をくれ。／～子 オロゴン～早く認知してくれ。／～モミジマン～俺のモミジ最高だぜ。 イエーイ

小山市康君 明けましておめでとうございます。今年は辰年、皆様にとっての気運が上昇することを祈念します。今年もよろしくお願ひします。

山本芳弘君 年忘れ家族会でディズニーリゾート入場券を頂きました。妹家族が大喜びでした。残り2名分とお土産代は私が出すことに・・・。

吉田隆男君 今年は充実した年にし、にこやかに日々を送りたいと思います。

横溝 亘君 皆様、本年もよろしくお願ひします。皆様にとって良い年でありますように！！

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には健やかな年頭を迎えることをお喜び申し上げます。

さて、昨年2011年は、歴史に残る大変な年がありました。そんな環境の中、神奈川東ロータリークラブの会長として大過なく前半を過ごすことが出来ましたことは、本年度理事、役員、各委員長の皆様を始め、会員お一人お一人の暖かいご支援、ご協力のお陰と厚く御礼申し上げます。

昨年の重点活動としては、当然のこととして東日本大震災復興支援が中心となりました。

7月29日第一回の夜間例会はマリンタワーで移動例会とし、山下公園が先の関東大震災の瓦礫によって出来たことを中心とする卓話を横浜シティーガイド協会の嶋田昌子様にお願いしたのをスタートに、8月5日には東日本大震災ボランティアステーション事務局の代表 植山利昭様、8月19日は福島第一原発事故の経緯と原子力の今後についてを日立製作所原子力部長の林勉様にそれぞれ卓話を頂きました。

そして9月17には神奈川東ロータリークラブとして具体的な支援先に決定しました宮城県七ヶ浜町、及び七ヶ浜ロータリークラブに被災地視察と現地の要望等を直接聞く為に行って参りました。そのことをふまえ、10月9日の恒例の区民まつりでは従来のスリランカ井戸掘り支援と併せて七ヶ浜町の物産販売を同時にを行い、大きな成果を上げることが出来ました。

また、10月21日の職場訪問では陸上自衛隊朝霞駐屯地を見学し、夜間例会では震災直後の現地で直接救助活動をされた自衛隊神奈川地方協力本部川崎地区隊長の佐々木大裕様より卓話を聞くことが出来ました。

このような支援活動を会員の皆様に深くご理解頂いた結果が七ヶ浜ロータリークラブを通じて災害用バルーンや掲示板として220万円、そして七ヶ浜町へのふるさと納税が330万円、合わせて550万円以上が相手の見える支援として神奈川東ロータリークラブとして出来ましたことは、改めて会員の皆様に感謝申し上げるとともに我がクラブのパワーと素晴らしさを感じることが出来ました。本当にご協力ありがとうございました。

さて、今年の主な活動について何点か申し上げます。まず初めは、今年度の運営テーマの一つとして掲げました「クラブ創生期とメンバーをもっと知ろう」です。すでに何名かの方々には卓話や会報でご紹介しましたが、今年はより多くの会員の皆様にも参加して頂きたいと思っておりますので、会報委員会やプログラム委員会より要請があった時は、是非、ご協力を下さるようお願い致します。

二つ目は、姉妹クラブ、友好クラブ、被災地訪問の件です。2月には新世代奉仕委員会がマレーシア ルーカンロータリークラブへフェリス学院の生徒が英訳した絵本と現地図書館備品の支援金を持って訪問し、3月には七ヶ浜町へ先の支援の確認を含め視察を社会奉仕委員会が、そして4月には台北滬尾ロータリークラブへ国際奉仕委員会が公式訪問を予定しております。

詳しい日程等は各委員会より順次ご案内があると思いますが、それぞれの訪問事業に一人でも多くの会員の皆様の参加をお願いしたいと考えております。

そして最後になりましたが、クラブにとって一番重要であります会員増強です。増強は、委員会だけの問題でなく、皆様一人一人に常にアンテナを張って頂き、いつも候補者を探すようお願いする

1月6日	28件	84,000円
本年度累計		1,200,278円

卓 話

「新年挨拶」

◆会長 加藤 仁昭



とともに、すぐに入会意向の有無は問わず、出来れば例会にゲストとしてご招待し、クラブの雰囲気を味わってもらってから具体的なアプローチが出来ればと思っておりますので、どうかよろしくお願ひします。

いろいろなお願いごとばかり申し上げましたが、残り半年間、私自身も精一杯頑張る所存ですので、会員の皆様におかれましても前半同様のご支援、ご協力を再度お願い申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。

本日はありがとうございました。

◆副会長 伊東 英紀



新年明けましておめでとうございます。

早いもので、加藤、天野年度も半年が経過し、「感謝、継承、進化」のクラブテーマのもと、クラブ運営も予定通り進められ、各委員会も会長方針に沿った委員会活動が行われて来ました。

昨年は、東日本大震災という今までに経験したことのない大災害に見舞われ、会員の皆様には募金活動等で想定外の出費を強いられたのではないかと思います。皆様のご協力に感謝申し上げるとともに被災地の皆様に多少なりとも協力出来、復興の一助となつたのではないかと思います。

今年度、残る後半には会員増強に努め、クラブの活性化、運営の安定化に向けて副会長として微力ではありますが、会長、幹事に協力し、楽しいクラブ作りに努めていきます。

年頭に当たり、会員皆様のご健勝、神奈川東ロータリークラブのご繁栄を祈り、ご挨拶とさせて頂きます。

◆副会長 山本 登

明けましておめでとうございます。

加藤会長、天野幹事のゴールデンコンビの年度も折り返し点を過ぎて後半になりました。主たる行事は前半で殆ど無事に終了しており、第2副会長の職責に就かせて頂いてはおりますが、理事会出席以外は何一つ仕事をさせて頂いた記憶がございません。さりとて自ら積極的に活躍の場を求めるような気概も無く、「隠居」とはこんなに気楽なものかと実感させて頂いております。一応四大奉仕関係は

ご下命があればお手伝いをさせて頂く心積もりではあります、優秀な各委員長のお邪魔をするのも気が引けますので、どうぞ後半も大過なく過ごさせて頂き、このまま何も仕事が無いままに年度を終え、記憶に残らない第2副会長として職責を全うしたいと願っております。

皆様の益々のご活躍を祈念致します。



◆幹事 天野 公史



明けましておめでとうございます。会員の皆様には、旧年中は大変お世話になりありがとうございました。

加藤会長のご指導のもと各理事・役員・委員長の積極的な活動により上半期を終えることが出来ました。大きなトラブルもなく新年を迎えられうれしく思っております。

「クラブ会員及び創生期をもっと知ろう」の会長方針のもとスタートし、最初の夜間移動例会は山下町のマリンタワーで横浜シティガイド協会の鳴田様に横浜の変遷についてお話を頂きました。

第4週の卓話も前年に引き続き当クラブ会員による時間とし、新鮮な驚きも頂きました。

9月には例年より早いガバナーの公式訪問となり、8月でのガバナー補佐をお迎えしての協議会となり、脇田米山奨学委員長、茂木

ロータリー財団委員長には大変忙しいおもいをさせてしまいました。ありがとうございました。

同じく9月には白鳥新世代奉仕委員長コーディネートによるフォーラム、そして東日本大震災の被災地宮城県七ヶ浜町を訪問し今後の連携及び支援についての打合せを行いました。会員皆様のご理解によりふる里納税による支援金及びバルーン投光機と掲示版の寄贈をすることになり本当に良かったと思いますし、あの光景は忘れられません。

10月は恒例の神奈川区民まつりでの募金活動でしたが社会奉仕委員会を始め、多くの会員、家族、そして前年同様同志社女子大学、京都光華女子大学の皆様のご協力のもと大きな成果を得ることが出来ました。ありがとうございました。

また職業奉仕委員会、植田委員長コーディネートのフォーラム、優良職場訪問と大変ハードなスケジュールを見事にこなして頂き、ありがとうございました。自衛隊朝霞駐屯地での軍備品の凄さ、そして防衛省神奈川地方協力本部の佐々木3佐の東日本大震災での活動の講話は心を打たれました。

11月の地区大会は当クラブの出席者が少なく寂しい思いをしましたが2次会の出席者は大変多く楽しい時間となりました。

12月は恒例の年忘れ家族会が親睦活動委員会を中心に行なわれ、大盛況で上半期を締めることができました。ありがとうございました。

これからの中下期も数々の行事があります。中でも会員増強が年間を通しての大切な活動です。会員の皆様には引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

◆会計 朝日 達夫



明けましておめでとうございます。

昨年は、東日本大震災、原発事故という未曾有の大災害に見舞われ、心痛む年となりました。

我々食品業界も多大な影響を受け、いまだその後遺症は消えておりません。さらに経済は冷え、政治の低迷も後押しし、国民全体に不安と不満が蔓延しております。

今こそ、企業活動も、ロータリー活動も「絆」を大切にし、一つになる必要があると思います。

どうぞ本年も、親交、友情を深め、またご指導、ご鞭撻を賜れますよう、よろしくお願ひ致します。

ロータリーの歴史探訪

第4回

ロータリーの歴史を語る時、創立者のポール・ハリス 組織の構築者であるチエスレー・ペリーと共にロータリー理念の提唱者であるアーサー・シェルダンの存在を忘ることは出来ません。

シェルダンはロータリー第二標語「He profits most who service best」(最もよく奉仕する者最も多く報われる)は1910年8月シカゴでの全米ロータリー連合第一回年次大会で初めて披露されました。

彼はどんな手段を講じようとも、富を得たものが成功者としてもではやされた19世紀の利己的な経営手法を批判すると共に単に自分だけが儲けようという商売から脱して、商売とは他人に対してサービス(奉仕)することだと力説し、20世紀の実業人を成功に導く方法は利益を他人とシェアするサービス学を厳守することであると説き、その理念を端的に表す言葉として「He profits most who service his fellow best」というモットーを発表した。この最初のモットーには「His fellow」が入っているのは興味深い。

現在のモットーは全ての人々を奉仕の対象にしているのに対し、その対象を His fellow と限定しているのはとりも直さず当初は自分の事業に関連する人々だけを対象としていた。

当時のサービス、奉仕とは教会で神に、国に対して兵役でそして主人に対して召使等で経営と奉仕を結びつけられる人はほとんどいなかったので、第一回全米大会はあまり取り上げられなかった。しかしシェルダンやかつてのシェルダンビジネススクールの生徒やシェルダンの奉仕哲学を学んだ多くの友人たちが積極的に行動し、1911年8月ポートランドの年次総会でこの「He profits most who service best」は採択されることになります。

第5回

前回アーサーシェルダンの「He profits most who service best」の話をしましたが今回はもう一つのロータリーモットー「service above self」(超我の奉仕、自己研鑽の奉仕、奉仕第一自己第二)について説明します。

1911年ポートランド大会にてミネアポリスクラブ会長のベンジャミン・フランクリン・コリンズがクラブ方針として「service not self」を発表しました。これは元来会員同士に限定されていた物質的相互扶助取引を他の一般の人達にも開放しようとしたもので今では当たり前の宣言であります。

しかし、これを宗教的又は人類愛に基づいた高次元のスローガンと誤解した後の人達が「service not self」自己犠牲に基づく他人への奉仕と勝手な解釈をつけ更にそれを聞いた人達がそれでは困る、自分の存在を認めた上で他人に奉仕するに変えてもらいたいということで現在我々が慣れ親しんでいるまったく別なスローガン「service above self」を作り、それがロータリーモットーとして1950年デトロイト大会で承認されました。

1911年、当時は会員同士の物質的相互扶助取引が活発に行われていた。ロータリーは profits を適正にシェアすれば結果として継続的な profits が得られるというシェルダンの理論を採用したが、profits が具体的に得られないと誰もロータリーには参加しなかつた時代なのでコリンズの「service not self」のスローガンが物質的相互扶助と関連していることはごく当然であった。

第6回

国際奉仕の概念導入

初期ロータリーで、最初に国際奉仕に類する活動が行われたのは、1914年、第一次世界大戦の頃からといわれ、アメリカからヨーロッパに出兵したロータリアンの子弟を、イギリスのロータリアン家庭がホストしたり、アメリカ、イギリス、アイルランド、カナダのクラブによって、ヨーロッパ各地で避難民への物資補給や、傷病兵の慰問や、終戦で復員してくる軍人に対するボランティア活動が始まりでした。

1919年、第一次世界大戦終了後、新しいクラブが世界中で誕生し、ロータリーの拡大は急ピッチで進んでいきました。

1921年、始めてアメリカを離れて、スコットランドのエジンバラ大会が開催され、それを記念して、「奉仕というロータリーの理想に結束した職業人の世界的友好による理解、善意および国際的平和の増進」という国際奉仕の考え方が発表され、それを綱領に入れるよう提案されました。しかし、綱領改正そのものが否決された為、翌年の1922年ロサンゼルス大会に持ち越されました。

1922年、国際ロータリークラブ連合会が現在の国際ロータリーに名称変更され、同時にロータリーの綱領と定款が抜本的に改正され、初めて正式に国際奉仕の概念がロータリーの綱領第6条に加えられました。この項目は、その後度重なる綱領改正にも変更削除されることなく現在に至っています。

* 参考文献 田中 豊 著 「ロータリー歴史探訪」
会長 加藤 仁昭

例会 3 回

12月度出席報告

米山学友 張 蕉 様より新年のご挨拶が届きました

神奈川東ロータリークラブの皆様へ

すっかりご無沙汰致しておりますが、皆様お変わりなくお元気でご活躍のことと存じます。私も相変わらずの忙しい毎日を過ごしております。

今年は東日本を中心に大変なことになりました。特に原発の問題は、広範な地域に長期にわたる被害を及ぼし、今後のエネルギー政策や人々の生き方、暮らし方にまで大きな影響を与え続けています。幸い皆様は被災地からの距離もかなりあり、直接の被害は少ないと推測しておりますが、如何でございましょうか。

今年は皆様にご報告申し上げるような業績は、これといってございませんでしたが、お蔭様で教授になることが出来ました。

これも皆様方の長年にわたるご支援、ご指導の賜物と感謝申し上げております。

年の瀬も押しつまり慌ただしい毎日と存じますが、どうかご自愛下さいますよう、お願ひ申し上げます。

新しい年が皆様にとって良い年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

大連海事大學 張 蕾

2011-12-22

次回《1月20日》の卓話予定
テーマ「漢字の成り立ち」－人体に関する文字－
書道家 河野 隆様
(紹介者 山田 正憲 会員)

12月度出席報告